











野菜の需給・価格動向レポート(平成24年11月5日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格動向				生育及び価格の11月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価格						
		上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ 	74.19	47	38	42	・入荷見込量: 13,862 (103) ・主産地: 千葉 (45)、茨城 (18)、愛知 (16)、東京 (4)	・千葉産は、夏場の少雨の影響で生育が遅れていたものの、生育が回復し、順調な生育、出荷となり、 平年並みの出荷の見込み 。茨城産は、夏場の少雨の影響を受け、少なめの出荷の見込み。愛知産は、順調な生育で玉の肥大も進み、潤沢な出荷の見込み。 ・千葉産と愛知産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		88.91	47	42	50	・入荷見込量: 4,000t (99) ・主産地: 愛知 (52)、茨城 (28)		
	ねぎ 	218.22	328	263	254	・入荷見込数量: 5,691t (95) ・主産地: 青森 (19)、新潟 (15)、秋田 (12)、茨城 (8)、埼玉 (7)、千葉 (6)、群馬 (5)、栃木 (4)	・青森産は、病虫害の発生が多く下等級品が多いものの、順調な生育となり、上旬に出荷のピークを迎え、 平年並みの出荷となる見込み 。新潟産は、生育が進み太物の比率が高くなるものの、夏場の少雨の影響で細物が多かったため、トータルでは平年には届かない見込み。秋田産は、細ものが多く、平年より少なめの出荷となる見込み。 ・新潟産及び秋田産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		314.62	363	301	313	・入荷見込数量: 800t (85) ・主産地: 北海道 (47)、鳥取 (19)、群馬 (8)、福井 (8)		
	はくさい 	54.1	49	46	55	・入荷見込量: 13,363t (105) ・主産地: 茨城 (84)	・茨城産は、定植時期の生育の遅れが解消し、 順調な出荷の見込み 。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		69.44	46	43	64	・入荷見込量: 5,300t (109) ・主産地: 茨城 (44)、長野 (25)、熊本 (10)、大分 (8)		
	ほうれんそう 	350.1	700	583	491	・入荷見込量: 1,880t (97) ・主産地: 群馬 (42)、千葉 (17)、茨城 (13)、埼玉 (13)	・群馬産は、病害もなく順調な生育となり、中旬のピークに向けて出荷量の増加が見込まれる。千葉産は、 平年並みの出荷の見込み 。 ・群馬産の出荷の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		416.76	730	567	568	・入荷見込量: 630t (79) ・主産地: 徳島 (37)、岐阜 (35)、福岡 (12)、群馬 (9)		
	レタス 	136.79	99	113	99	・入荷見込量: 7,822t (103) ・主産地: 茨城 (68)、兵庫 (10)、香川 (5)	・茨城産は、順調な生育となり品質良好で玉伸びも良く大玉傾向となっており、中旬まで出荷のピークを迎え、 平年並みの出荷となる見込み 。兵庫産は、天候不順の影響で生育が遅れ、少なめの出荷となる見込み。 ・兵庫産の出荷が少なめと見込まれることから、平年を下回っていた価格は、平年並みに近づく見込み。	
		147.25	119	142	146	・入荷見込量: 1,450t (100) ・主産地: 兵庫 (39)、茨城 (24)、徳島 (17)、香川 (14)		
たまねぎ 	76.15	76	73	67	・入荷見込量: 10,578t (111) ・主産地: 北海道 (88)、輸入 (9)	・北海道産は、収穫が終了し、作柄良好で前年を上回る出荷となっている。今後も 平年並みの出荷の見込み 。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
	76.15	77	76	69	・入荷見込量: 4,000t (106) ・主産地: 北海道 (59)、兵庫 (37)			
果 菜	きゅうり 	262.75	226	264	294	・入荷見込量: 4,800t (100) ・主産地: 埼玉 (34)、群馬 (18)、宮崎 (15)、千葉 (10)、高知 (7)、茨城 (7)	・埼玉産は、順調な生育となり、 平年並みの出荷の見込み 。群馬産は、平年並みの出荷となっているものの、前進化した出荷の影響で、平年より早めの切り上がりとなり、出荷量が減少する見込み。 ・群馬産の出荷の減少が見込まれることから、価格は、平年よりやや上回って推移する見込み。	
		284.72	262	252	285	・入荷見込量: 1,050t (109) ・主産地: 宮崎 (35)、高知 (19)、群馬 (12)、大阪 (10)、北海道 (7)		
	トマト 	315.83	470	600	635	・入荷見込量: 5,110t (100) ・主産地: 熊本 (36)、千葉 (17)、愛知 (16)、茨城 (11)、静岡 (5)	・熊本産は、順調な生育で、中旬から出荷量が増加する見込み。千葉産は、今後生育が回復し、出荷量が増加するものの、平年よりは少ない見込み。愛知産は、出荷が本格化し、中旬から増加する見込み。 ・中旬から熊本産や愛知産の出荷量の増加が見込まれるものの、需要が堅調なことから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		337.88	495	593	637	・入荷見込量: 950t (95) ・主産地: 熊本 (43)、岐阜 (12)、愛知 (10)、福岡 (7)、石川 (6)、徳島 (6)		
	なす 	301	257	212	246	・入荷見込量: 2,610t (100) ・主産地: 高知 (56)、福岡 (16)、栃木 (7)、群馬 (4)	・高知産は、好天に恵まれ順調な生育で、 平年並みの出荷の見込み 。福岡産は、夏場の高温の影響で少なめの出荷となり、中旬までは少なめの見込み。 ・福岡産の出荷が少なめと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		263.21	218	198	237	・入荷見込量: 480t (96) ・主産地: 高知 (31)、熊本 (21)、岡山 (12)、徳島 (10)、福岡 (9)		
	ピーマン 	263.58	181	201	242	・入荷見込量: 1,690t (100) ・主産地: 茨城 (68)、高知 (11)、宮崎 (10)	・茨城産は、生育が順調で、 平年並みの出荷となっているものの、まとまった量の出荷は中旬までとなる見込み 。高知産及び宮崎産は、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		282.16	237	229	244	・入荷見込量: 350t (115) ・主産地: 宮崎 (39)、高知 (31)、鹿児島 (12)、兵庫 (6)		
	根 菜	だいこん 	64.33	82	65	69	・入荷見込量: 12,718t (102) ・主産地: 千葉 (68)、神奈川 (13)	・千葉産は、定植時の遅れも回復して、出荷が本格化し、 平年並みの出荷の見込み 。神奈川産も、出荷開始となり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
			76.48	88	68	78	・入荷見込量: 3,800t (101) ・主産地: 青森 (17)、千葉 (15)、長崎 (13)、北海道 (12)、和歌山 (11)、石川 (8)、徳島 (8)	
にんじん 		123.08	111	93	82	・入荷見込量: 7,715t (100) ・主産地: 千葉 (54)、北海道 (28)、輸入 (2)	・千葉産は、播種の遅れや生育の遅れが見られたものの、その後の生育は良好で、 平年並みの出荷となる見込み 。北海道産は、ピークを過ぎ中旬の切り上がりに向けて減少傾向となるものの、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
	123.11	115	94	82	・入荷見込量: 2,400t (98) ・主産地: 北海道 (48)、長崎 (34)、千葉 (10)、鳥取 (6)			

種類	10月の価格動向				生育及び価格の11月の見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬		下旬
い	さといも	200.88	236	225	199	・入荷見込量:1,337t(101) ・主産地:埼玉(52)、千葉(19)、栃木(6)、輸入(6) ・埼玉産は、収穫作業のピークを迎えている。夏場の少雨の影響で小玉傾向ではあるものの、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		207.2	209	187	213	
も	ばれいしょ	88.17	77	78	79	・北海道産は、収穫が終了。収穫時の高温のため、腐れ等が見られるものの、平年並みの出荷の見込み。 ・当面は、順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.17	78	79	76	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び金額 (1人当たりの購入数量と金額)				主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位:円/kg)									
	購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	金額(円)	キャベツ			レタス						
	過去5年平均	平成23年	平成24年		過去5年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5年平均	平成24年	5か年比(%)				
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	166	230	138	547	690	126
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	177	247	140	508	691	136
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	188	238	126	461	692	150
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	238	262	110	462	513	111
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	172	196	114	380	409	108
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101	144	127	88	350	305	87
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,386	101	1,675	95	160	119	75	324	292	90
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	4,245	97	1,618	94	156	111	71	463	296	64
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	4,916	107	1,703	94	155	101	65	562	307	55
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0	161	100	62	505	326	65
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0	162		0	371		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0	153		0	453		0

3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量の推移 (単位:トン、%)				主な野菜の輸入動向 (単位:トン、%)					
	平成22年	平成23年	平成24年1~9月		平成24年9月		品目	輸入先	平成23年9月(A)	平成24年9月(B)
生鮮野菜	820,687	915,091	746,971	55,079	たまねぎ	合計	22,743	23,144	102	
加工野菜	1,677,840	1,803,510	1,403,739	138,052	中国	21,082	21,423	102		
野菜合計	2,498,527	2,718,600	2,150,710	193,131	アメリカ	1,649	1,659	101		
うち中国産野菜合計	1,284,449	1,409,984	1,084,916	105,897	にんじん	合計	6,935	5,644	81	
中国産シェア	51	52	50	55	中国	6,788	5,572	82		
					オーストラリア	63	37	59		
					ねぎ	合計	4,186	3,848	92	
					中国	4,184	3,846	92		

4 トピック — トマトの需給状況 —

今年のトマトの価格は、高い状況が続いている。6月以降の需給動向を見ると、9月にかけて入荷量が平年を上回って推移した。他方、今年に入ってトマトの機能性に関する研究成果が相次いで発表されたこともあり、根強い人気に支えられ、購入数量も過去5年平均を上回るような状況であったことから、価格は、平年を上回って推移した。

10月に入り、
① 夏場の高温による影響で、青森等の東北産が早めに切りあがったこと
② 千葉産、茨城産等の関東産が、8月の高温障害の影響で着果不良となったことから、出荷量が少なめになっていること

等から、入荷量が平年を下回り、価格は大幅に上昇している。10月上旬の北日本が記録的な暖かさだったのははじめ、暖かい秋で、需要が引き続き堅調と見られることも、価格上昇に寄与しているのではないかと考えられる。

今後は、後続の熊本産が、順調な生育で、11月中旬から出荷量の増加が見込まれることから、安定した入荷量になると見込まれる。このため、価格は、徐々に落ち着いてくるものの、暖冬傾向が予想される中、需要は堅調さを維持すると考えられることから、平年を上回って推移する状況が続くと見込まれる。

トマトの入荷量と卸売価格の推移(6~10月、東京都中央卸売市場)

資料: 青果物情報センター

熊本県八代地域の日照時間と平均気温

資料: ベジ探(原資料)「気象庁」

トマトの機能性に関する最近の研究成果

日時	内容	発表者
平成24年2月	トマトから「脂肪肝、血中中性脂肪改善に有効な健康成分を発見」との研究成果を発表。	京都大学の研究グループ
平成24年3月	「運動前または中間でのトマトジュースの摂取により運動疲労の軽減が期待できる」とを発表。	カゴメ総合研究所と鈴鹿医療科学大学薬学部の協同研究
平成24年5月	「トマトとアルコールを同時に摂取すると、血中アルコール濃度が低下させることをヒトで確認」との研究成果を発表。	アサヒグループホールディング株式会社とカゴメ株式会社の協同研究

食べてみたい話題の鍋料理の支持率 (単位:%)

話題の鍋料理	支持率
海鮮トマト鍋	70.4
日本酒しゃぶしゃぶ	66.0
ポタージュ鍋	62.2
汁なし鍋	52.5

資料: 飲食店情報検索サイト「ぐるなび」の「2024年冬のトレンド鍋予報」(平成24年8月、20歳以上の男女1,404人に対して、話題の4種類の鍋について、どの程度食べたかかの質問への回答。支持率は、「ぜひ食べてみたい」、「まあ食べてみたい」の回答の合算。)

トマトの月別購入数量の推移

資料: ベジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。